

平成 29 年度 協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～ 事業実施レポート

目次：

- (1) 国際理解って？
- (2) 帰国した青年海外協力隊
- (3) 小学校で
- (4) 中学校で
- (5) 事業実績
- (6) 先生方の声



(1) 国際理解って？

「国際理解」というと何だか難しく遠い世界のことのように感じますが、周りを見渡せば、わたしたちの身近なところに、国際理解につながるヒントがたくさん潜んでいます。

海外との関係なしで、生活が成り立たなくなった今日、その国に住む人々や文化を正しく理解し、また、その国の現状を把握した上で、何ができるかを考えることは大切なことです。実際に外国で生活していた日本人の話や、日本で生活している外国人の話を聞いて、一緒に世界のこと、日本のことを考えてみませんか？



(2) 帰国した青年海外協力隊

青年海外協力隊とは、開発途上国支援のため独立行政法人国際協力機構（JICA）が行っている派遣事業のひとつです。今年で52年目という長い歴史を持ち、これまでに4万2千人を超える日本の青年が世界各地で活動してきました。

鹿児島県出身の青年海外協力隊員も多く、2017年1月31日現在41名が世界27カ国で活動しており、帰国した青年海外協力隊員は、約800名となりました。

帰国後も協力隊の経験を通して身につけた「広い世界観と問題意識」、「たくましい精神力」、「高度なコミュニケーション能力」等を生かし、青年海外協力隊鹿児島県OB会の一員として、イベントへ参加したり、講演会を実施したりと、県内各地で積極的に活動しております。元青年海外協力隊員の話に触れる機会は、みなさんのすぐそばに溢れています。



国際協力講演会 パネルトーク



砂の祭典 世界の言葉でこんにちは！



湧水町高原フェスタ 青年海外協力隊活動紹介



創志塾 「日本の魅力とこれから」

(3) 小学校で…

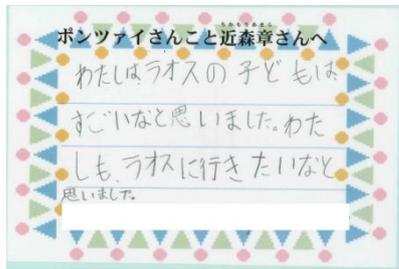
知らない国の、聞いたこともない嘘のような本当の話。

インターネットの普及で、今日ではより簡単に、世界中の様々な情報が得られるようになりました。しかし、多感な時期にある小学生にとって、教科書やテレビからの情報ではなく、直接元青年海外協力隊員の体験談をきいたり、留学生と交流したりすることが与える影響は大きく、改めて身の回りの環境や世界に目を向けるきっかけとなるようです。

このような出会いが、新しい気付きや意欲的な学びへとつながるかもしれません。



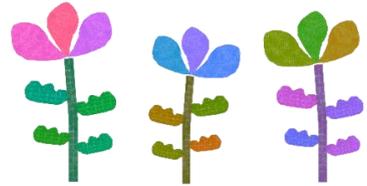
ブラジルは遠い国だと思っていたけど、留学生の先生の話を書き、日本と少し似ているなあと思いました。給食の時一緒に話したり、昼休みにたくさん遊んだりして楽しかったです。ま



本原和代さんへ
今日はおもしろい中 私達は青年海外協力隊のことを教えて下さりありがとうございました。職種も華やかだと私もいつかはしてみたいなと思いました。マテ茶は今まで飲んだことのない味でとてもおいしかったです。パンクアイのお金や着る服なども初めてみたときおどろきました。私たちは、学校にいやいや、マテ茶と、海外には行きたくても行けないのがいざとされていくことに少し怖いなと思いました。



継続することの大切さを学びました。これからも先生のお話から学んだことを生活に活かしていきたいなと思いました。 児童感想〔一部抜粋〕



私は青年海外協力隊の仕事は素晴らしい仕事だと思いました。私は将来、青年海外協力隊のような、人の役に立つ仕事をしてみたいです。

児童感想〔一部抜粋〕



(4) 中学校で…

国際協力について、自ら考え、実行に移すこともできる年齢の中学生。

時には講話だけでなく、ワークショップを通して課題を見つけ、課題解決に向けて主体的に考える力の育成に資する授業も実施しています。

そろそろ進路についても考え始める感受性豊かな年代の彼らにとって、元青年海外協力隊員が歩んできた道や、故郷を離れ日本で生活する留学生の話は、異文化理解としてだけでなく、自分の生活や将来について見つめなおすきっかけとなるようです。



日本では当たり前のことも他の国ではちがうかもしれない。そういう所をお互いに知り、お互いに深めあっていくことが大事なんだと、今日の話を通して教わりました。



今回の永山さんの話をきいて、中国にもっている考えがわかりました。正直いいイメージはながたけど、家族想いな一面や、とてもきれいな風景など見て、良いところもたくさんあるのだなと思いました。最後に永山さんが言った「物事を一方通行で見るとは、様々な面が見ることが大切、ということをお忘れなようにしたいです。」



国境を越えて活動するお二人のように、自分も勇気をもって大きなことにチャレンジしたいです。 生徒感想〔一部抜粋〕

自分も協力隊の先生のように行動できるかは分からないけど、やれるだけのことをやってみたら視野が広がるんだと思いました。これからは自分にできることにどんどん挑戦してみようと思います。

生徒感想〔一部抜粋〕

異文化や他国のことについて学ぶ楽しさを知ることができました。けれども、その異文化を尊重せず、馬鹿にしたりされたりしている現実を聞き、ショックを受けました。

私は将来海外で働きたいので、行った国の文化を大切に、それぞれに違いがあることを理解して、その国に貢献したり、楽しさを知りたいです。 生徒感想〔一部抜粋〕

私は将来、学芸員や劇場の管理者になりたいと考えています。日本や世界の文化が表れる舞台芸術や美術品が好きで、その魅力をさらに多くの人に知ってもらいたいと思っています。まずは今から、自分から動いて夢を掴みに行きたいです。私は夢をもう一つ持っています。それが、有矢乃さんのように青年海外協力隊として国の支援を行うことです。講話を聞く前までは、採用率が高くないことや帰国後の就職が大変なことを知って諦めていた夢でした。ですが講話を聞いて、経験者の話を聞いてやっぱり協力隊になりたいと思い直しました。合格までの流れを知ることできたので、私もいつか協力隊員として海外で生きていこうと思います。自分から動くこと、個性を受け入れることが大切だと学びました。私も夢を叶えようと思います。ありがとうございました。



僕は今まで夢という夢が見つからずにいる、何に向かって頑張っているのだろうか、何もないのに何の勉強をしているのだろうか？など勉強しないという言い訳ばかり言って、苦手なことから逃げていました。だけど今日の講話をきいて、夢が見つかったときのための近道と考えたらやる気がわいてきました。「もっと世界の常識を知りたい！」とも思いました。僕はこれからとても頑張ります！そして世界に行ってみたいです！ 生徒感想〔一部抜粋〕



平成 29 年度 協力隊 OB と留学生が先生

～見える・学べる・世界の国々～



(5) 事業実績

敬称略

	市町村	学校名	講師	
			JICA OB/OG (派遣国)	在住外国人 (出身国)
鹿児島市 教育委員会	鹿児島市	伊敷小学校	溝口 恵 (ソリア)	—
		春山小学校	本田 隆一 (トガ)	景德 (中国)
		中洲小学校	後藤 まどか (フィリピン)	—
		東桜島中学校	上野 陽子 (パプア)	—
		錫山中学校	外西 朋子 (パプア)	後平 佐藤 加奈子 (ブラジル)
		谷山北中学校	サブリヤ智子 (パプア)	サブリヤ デイゴ (パプア)
		黒神小学校	中川 潤 (パプア)	—
鹿児島 教育 事務所	いちき 串木野 市	荒川小学校	塚田 拓 (ブラジル)	カマル アフィック (マレーシア)
		串木野小学校	溝口 恵 (ソリア)	二宮 明リツ (フィリピン)
南薩 教育 事務所	枕崎市	立神中学校	桑山 昌洋 (ポツナ)	—
	南九州市	清水小学校	近森 章 (ウチ)	上園 タク恵 (ブラジル)
北薩 教育 事務所	長島町	長島中学校	福田 賢次 (トガ)	敖 日其楞 (中国(内モンゴル))
	出水市	出水中学校	桑山 昌洋 (ポツナ)	サブリヤ デイゴ (パプア)
	さつま町	求名小学校	田中 久雄 (インドネシア)	滕 詩佩 (中国)
	出水市	江内中学校	永山 俊介 (中国)	—
	薩摩川内市	黒木小学校	清藤 浩文 (イタリヤ)	エナド カルル パナカ (パプア)
	さつま町	山崎小学校	本田 隆一 (トガ)	—
始良・伊佐 教育 事務所	伊佐市	南永小学校	竹野 愛 (タイ)	—
	霧島市	霧島小学校	竹野 愛 (タイ)	—
	始良市	西始良小学校	塚田 拓 (ブラジル)	ルサガバ ヒル ヨハ (ブラジル)
	伊佐市	曾木小学校	竹野 愛 (タイ)	柯 書翰 (台湾)
	伊佐市	田中小学校	濱田 孝子 (オーストラリア)	—
	始良市	三船小学校	永山 俊介 (中国)	高島 叶 (フィリピン)
	始良市	帖佐小学校	塚田 拓 (ブラジル)	二宮 明リツ (フィリピン)

	市町村	学校名	講師	
			JICA OB/OG (派遣国)	在住外国人 (出身国)
大隅 教育 事務所	鹿屋市	東原小学校	瀬角 龍博 (カナダ)	叢 璋・黄 娟 (中国)
	垂水市	柘原小学校	瀬角 龍博 (カナダ)	郭 述柔 (台湾)
	曾於市	岩川小学校	瀬角 龍博 (カナダ)	連 軒逸・唐 雅琪 (台湾)
	曾於市	大隅北小学校	進藤 鈴子 (インドネシア)	—
	南大隅町	根占中学校	末永 雅雄 (オーストラリア)	金 建東 (韓国)
	東串良町	東串良中学校	仮屋 慶一 (オーストラリア)	—
	熊毛 教育 事務所	西之表市	古田小学校	木原 和代 (パプア)
中種子町		増田小学校	木原 和代 (パプア)	権 五準 (韓国)
大島 教育 事務所	与論町	茶花小学校	桑山 昌洋 (ポツナ)	—
	瀬戸内町	油井小中学校	坂本 涉 (ウチ)	—
	奄美市	奄美小学校	向田 めぐみ (オーストラリア)	—
	奄美市	佐仁小学校	坂本 涉 (ウチ)	—
	喜界町	喜界小学校	坂本 涉 (ウチ)	—
	宇検村	田検中学校	重田 朱美 (イタリヤ)	—
	宇検村	田検小学校	重田 朱美 (イタリヤ)	—
奄美市	名瀬中学校	アカンタラ 有矢乃 (ドミニカ共和国)	—	

平成 29 年度実施 : 40 校 (23 市町村)



平成 29 年度 協力隊 OB と留学生が先生 ～見える・学べる・世界の国々～



(6) 先生方の声 (一部抜粋)

【授業を終えて…】

- ❖ 外国の子ども達の暮らしと自分達の暮らしを比較し、「かわいそう」ではなく、一生懸命未来をつくるために生活したり、楽しみをつくりながらもきついことを頑張ったり、学校で学んでいる仲間として考えることができているようだった。
- ❖ 大きな国だけでなく、小さな国とも日本はつながりがあることが分かったので、もっといろいろな国とのつながりを知ったり、どのような交流があるのかを学んだりしていきたい。
- ❖ 日本の裏側の遠い国が身近に感じられるようになった。
- ❖ 青年海外協力隊を志した動機や一芸に秀でることの大切さ、夢に向かって努力することの素晴らしさについて語っていただき、特に高学年にとってはキャリア教育の一環となり、大変有意義な時間となった。

【先生方が抱えている問題など】

- ❖ 教材不足などの理由から、教師自身が国際理解を遠い外国の話であるという認識をもっていたり、国際理解教育を進めることに抵抗がある教員が多いように思う。まずは、他者理解・相互理解を基本に進めていきたい。
- ❖ 偶然のチャンスを待つのではなく計画的・発展的に国際理解教育を行っていきたいが、人材や謝金等の確保がなかなか難しい。
- ❖ 生活や価値観のちがいに対して互いを認め合えるような学びの雰囲気をつくるためにはどうしたらよいか模索中である。
- ❖ 年間計画などの問題から、国際理解教育の場を定期的にもうけたいと思っていても、時間を確保するのがなかなか難しい。
- ❖ 身近に外国人の方などがあまりおらず、ゲストティーチャーを活用した取り組みを行いたい、なかなか簡単にいかないのが現状である。

実行委員会構成団体



鹿児島県青年海外協力隊を支援する会
<http://www.kagojocv.com/>



青年海外協力隊鹿児島県 OB 会



公益財団法人鹿児島県国際交流協会
<http://www.synapse.ne.jp/kia/>

「協力隊 OB と留学生が先生～見える・学べる・世界の国々～」事業 実行委員会

〒892-0816

鹿児島市山下町 14 番 50 号かごしま県民交流センター1 階 公益財団法人鹿児島県国際交流協会内

電話❖ 099(221)6620 FAX❖ 099(221)6643 MAIL❖ kia@po.synapse.ne.jp